令和６年度　八幡西中学校研究構想図

【学校の教育目標】

健康で心の豊かな生徒

主体的に学び，行動する生徒　　感謝の心とつながりを大切にする生徒　　たくましく生きる生徒

【本校における学習課題】

○基礎的・基本的な知識・技能の習得ができている生徒はいるが，それを思考力・判断力・表現力へと結び付けるところまでは至っていない。

○問題発見・解決するための思考力や，結論を決定する判断力はあるが，伝える相手や状況に応じた表現力が弱い。

○課題解決に向け，粘り強く取り組むことはできるが，自らの学習状況を把握し，学習の進め方を試行錯誤する力が弱い。

【目指す生徒の姿】

○基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るとともに，日常生活の様々な場面で活用できる知識・技能を体系化しながら身に付ける生徒

○課題解決に向け仲間と協働し，異なる考え方を組み合わせ，学習を深め広げる生徒

○自分の学習状況を的確に把握し，学習方法や学習内容を自ら調整しながら粘り強く取り組む生徒

【研究の流れ】

昨年度は，「深い理解に基づく豊かな表現によって，学びを実感する生徒の育成　～主体的・対話的で深い学びを通して～」を研修主題に掲げ実践を進めた。単位時間の役割を明確にした指導計画を作成したり，学習過程において，主体的・対話的で深い学びを促したりすることで，生徒は，学習内容を深く理解して豊かに表現することができ，自他の考えを認め合うことで，学びを実感することができるような指導を行うことを重点とした。研究実践を通し，単元や単位時間のねらいや導入を工夫しながら，個別最適な学びや協働的な学びを効果的に組み合わせることで，深い理解を生み出し，その理解に基づいて豊かに表現できる生徒の姿につなげることができた。

【研究主題】

主体的に学び合い，学びを実感する生徒の育成

～個別最適な学びと協働的な学びの効果的な活用を通して～

【研究仮説】

見通しをもって主体的に学習に取り組める指導計画を作成し，学習過程において，個別最適な学びと協働的な学びを効果的に活用する。また，理解した学習内容を振り返りの中で豊かに表現し，それらを互いに的確に評価し合うことで，学びを実感することができる。

研究内容１　指導計画の工夫	研究内容２　学習過程の工夫	研究内容３　終末の工夫
（１）見通しをもって学習に取り組むことができる単元構想の作成 （２）単元を貫く課題と各単位時間の学習課題に整合性をもたせる単元構想の作成	（１）主体性と深い学びを生み出す学習課題の設定 （２）個別最適な学びを生み出す学習方法や学習内容の工夫 （３）目的や意図を明確にした交流の設定	（１）学びを実感するための振り返りの設定と振り返る内容の工夫 （２）ねらいに沿った明確な評価規準に基づく自己評価・相互評価